

空間放射線量調査の 見直しについて

環境部環境保全温暖化対策課

これまでの経過

平成23年3月	原発事故が発生
平成23年10月	携行型の空間放射線簡易測定機（サーベイメーター）を導入し、市内の空間線量の調査に着手（以降、市内保育園、小学校、公園等で現況を把握する調査を実施）
平成24年4月	市内 <u>35地点</u> ：週1回を1地点、月1回を3地点、年1回を31地点（戸隠、鬼無里、大岡、新町、中条、豊野、篠ノ井、松代、若穂その他各地区）
令和3年10月	空間線量調査開始から満10年が経過
令和5年4月	現在の調査地点、調査回数としてから満11年が経過

- 現時点で、どの調査地点も数値が低く安定しており、特に高い地点は見られない。

（R4年度のサーベイメーターによる調査 0.03～0.09 μ Sv/h）

県の監視状況

1. モニタリングポスト

- 県内7か所（長野市、飯山市、軽井沢町、松本市、諏訪市、飯田市、大町市）において、24時間連続して常時観測
- 福島第一原子力発電所事故後に数値の上昇はあったが、現在は事故前の水準と同レベル

2. 携行型の簡易放射線測定機

- モニタリングポストが設置されていない県内4か所（上田市、佐久市、伊那市、木曾町）で、地上1メートルにおいて月1回実施

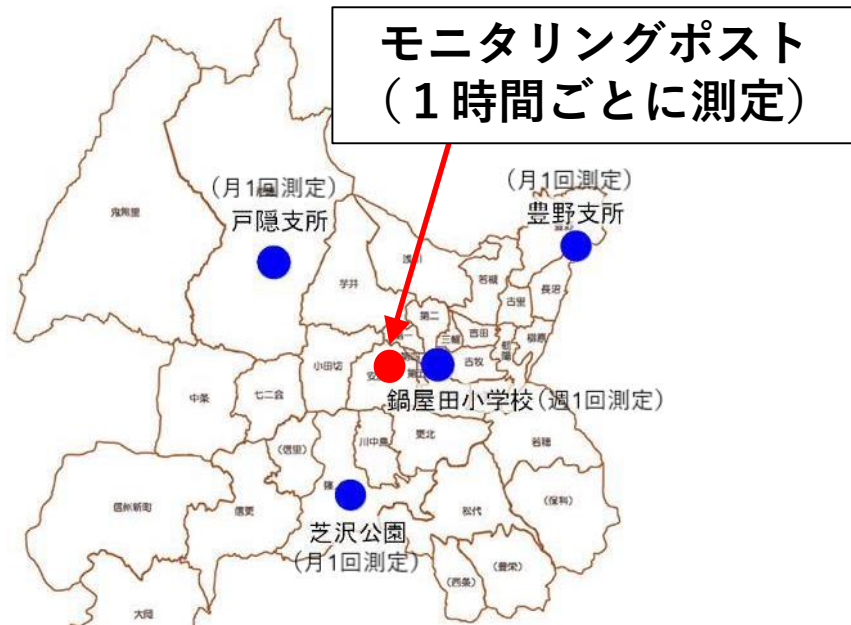
他市の調査状況

頻度	長野市	上田市	須坂市	中野市	茅野市	塩尻市	飯山市
年1回	31			19	10		
年2回			6				
年4回					3		
隔月							19
月1回	3	1				1	2
週1回	1						
合計	35	1	6	19	13	1	21

※須坂市は令和5年度をもって終了

今後の方針

- ・ 県設置（環境保全研究所安茂里庁舎の屋上）
- ・ 平成3年度測定開始



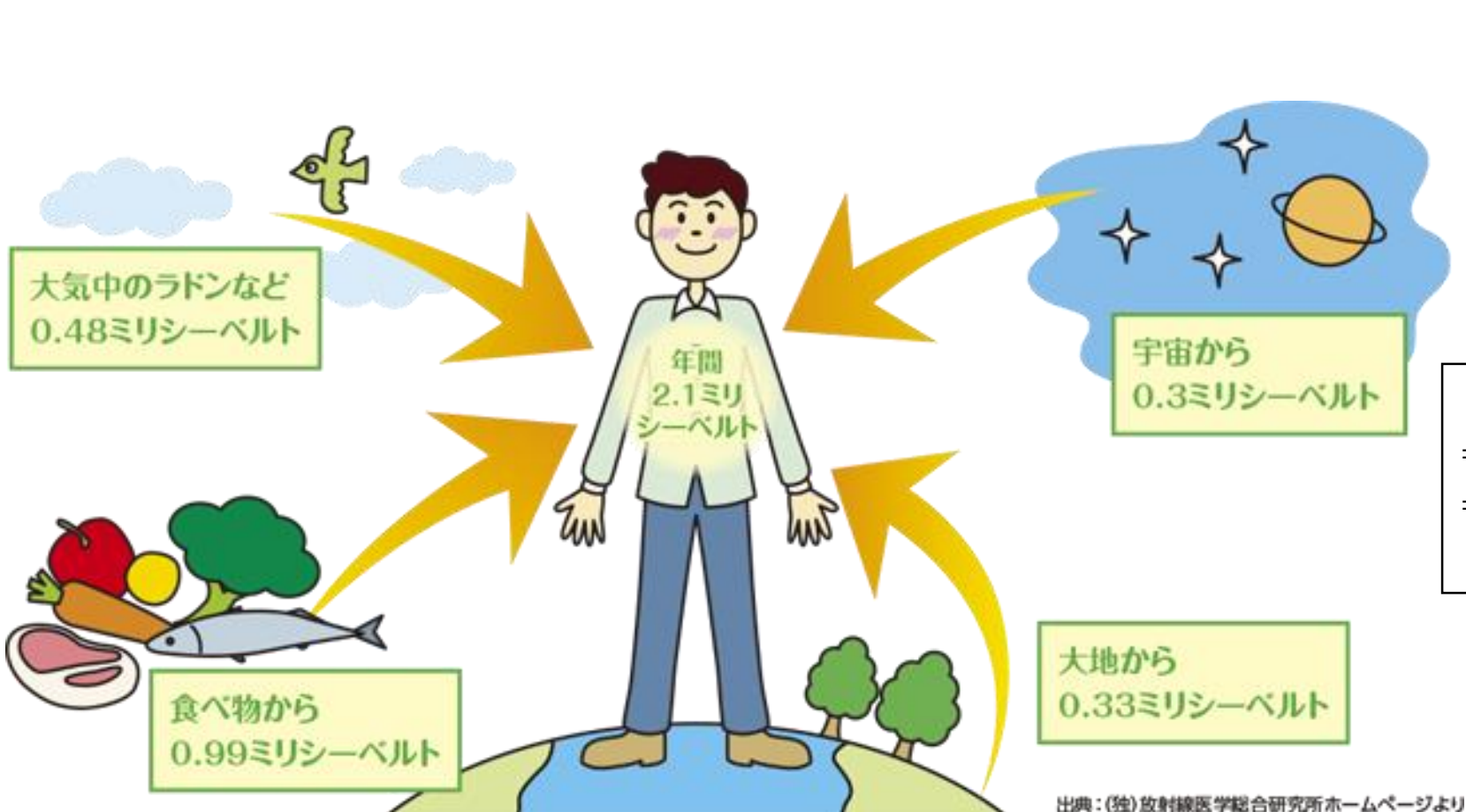
日平均値	安茂里(モニタリングポスト)		鍋屋田 (地上1m)
	地上15m	1m推計値	
最大値	0.045	0.075	0.06
最小値	0.032	0.053	0.05
平均値	0.037	0.061	0.06

R4年度 放射線測定結果 (単位: $\mu\text{Sv/h}$)

県設置のモニタリングポスト(安茂里)の1m推計値と鍋屋田の測定結果はほぼ同等

**令和6年度から市内の空間放射線量の常時監視は、
県設置のモニタリングポスト(安茂里)とする。**
※部長会議(9/29)、政策説明会(10/3)で議会へ説明予定

【参考1】 年間に受ける放射線量



鍋屋田の測定値 (R4平均値)
1時間あたり
0.06マイクロシーベルト

年換算

$$0.06(\mu\text{Sv/h}) \times 24(\text{時間}) \times 365(\text{日})$$

$$= 525.6(\mu\text{Sv/年})$$

$$= 0.5256(\text{mSv/年})$$

≒ 年間0.53ミリシーベルト

測定結果としては、左図
の大気・宇宙・大地から
受ける放射線量の合計
(1.11mSv)より低い。

年間に受ける放射線量

(環境省ホームページ「身の回りにある放射線 (放射性物質汚染廃棄物処理情報サイト)」から)

【参考2】 関係部局の調査状況

部局	調査対象	調査内容	頻度	目的
衛生センター	し尿汚泥	放射性物質濃度	2か月ごと	品質管理（汚泥肥料）
東部浄化センター	下水汚泥	放射性物質濃度	年1回	品質管理（セメント原料）
長野広域連合	施設の空間	空間線量	3か月ごと	汚染状況の確認
	埋立地	空間線量	年1回	汚染状況の確認
	主灰、飛灰	放射性物質濃度	3か月ごと	品質管理（セメント原料）

※施設からの排出物を再利用するための品質管理としての測定は継続して実施